

る行政の職員がおられると非常にありがたいですし、市民に活動をアピールする絶好の場所だと思います。

図書館の機能ですが、一点集中よりも、図書館兼児童館のような形で点在する方が身近で使いやすいと思います。図書館同士の連携がとれていれば、蔵書の数も無限に広がるわけで、巨大図書館の必要性はなくなると思います。

市長 今のお話の中で、市役所の窓口のサービスの提供について話されたように旧ダイエーの一階を住民票や戸籍関係の市民課をはじめ、児童家



竹内市長

庭課、高齢社会課などの福祉の関係、市民税課、固定資産税課などの税金の関係、それからごみの関係など、市民生活に密接した課を同じフロアに配置し一連の手続きができるワンストップサービスの充実を図りたいと思っています。

旧ダイエーの跡地は、町村の人たちも比較的知っておられ、わかりやすい場所です。また、旧ダイエーの跡地は、先ほど言われた駐車場がありますし、駅など公共交通機関の拠点にも近いわけですから、そういったことを利用したサービスの向上も図ることができそうです。

先ほどさらに「アクティブとっとり」の話が出ていましたが、旧ダイエーの二階については、市議会の特別委員会でも検討中ですが、市民サービスの向上につながる一番よい活用の方法を考えていきたいと思っています。

坪田 旧ダイエー跡地の周りには、税務署など行政の建物が集中し駅からでも歩いて行けますから、ぜひ進めていただきたいと思っています。

地域の連携と 中心市街地のにぎわい

司会 影日さんは環境大学生ですけれども、学生のみならずは合併についてどのように感じておられますか。

影日 そうですね、僕たち学生は、市町村合併の認識はまだ薄いですね。合併について専門に考えている人もいます。合併したら一体どうなるのか詳しいところまで知っている学生は少ないです。

僕たち学生の関心は、合併によって二十万都市となる鳥取市が、どのように発展していくのか。また、市民にどういう利益が生まれてくるのかということ。今、鳥取市は、湖山など各地で郊外型の発展を遂げていますが、そういう発展の中で、合併によって、各地で発展しているものが結びつくことになり、そこから、周りとの連携や結びつきというものを大切にしないと、中心市街地の活性化が図れないと思います。僕たちはそういうことにとっても興味

があるので、どのような対策を行っていくのか、お聞きしたいです。

市長 合併すると広い面積となりますが、それぞれの地域が持つ特色を生かした発展に向けて、新市のまちづくり計画を立てています。青谷、佐治には和紙の産業がありますし、福部村ではラッキョウ作りとか、産業面や農業面でも各町村固有の特色があるわけです。このような地域が持つ特色を伸ばしていきながら、連携を図り魅力ある地域づくりをしていきたいと思っています。

中心市街地の整備については、どんな都市でも中心部に期待される機能があります。例えば交通の拠点、ホテルなどの宿泊施設、会議場など、都市の中心部が持つ機能は、二十万都市として一体化していく中で、都市機能が集積する場所としてにぎわいが出てきます。このようなことから、いろんな都市機能が整備されるようになるということが一つですね。それから、人の行き来がこれまでより



影日 隆 (鳥取環境大学4年生)

頻繁になると思います。例えば各地の文化的な行事やお祭りなどが、一つの市の行事として位置づけられますから、それに向けて多くの市民が参加することで、各地の祭りににぎわいが出てくると考えています。ですから中心市街地も、人の交流が各地域との間で盛んになればなるほど、にぎわいが出てくるということですね。

また、私は旧市立病院跡にスケートボード場をつくりましたが、若い人の遊ぶ場がないというのは鳥取市として大きな悩みであります。これからもまちづくりの中で力を入れていきたいと思っています。